



令和元年 11 月 11 日

報道機関 各位

東北大学大学院工学研究科

東北大学第 6 回公開講座『今、エネルギーを考える』開催

東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻では、同流体科学研究所、日本保全学会 東北・北海道支部との共催により、エネルギー問題を多面的な視点から見つめ直し、あらためて日本のエネルギー政策を考えていただくための素地を提供することを目的に、下記のとおり公開講座を開催いたします。

第 6 回となる本講座では、「脱原発」や「エネルギー転換」を目指しているドイツのエネルギー事情の現状に詳しいドイツ在住の作家の川口マーン恵美氏にご講演をいただくとともに、我が国のエネルギー問題に関連して国民の関心の高い東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所の廃炉について東京電力ホールディングス(株)福島第一廃炉推進カンパニーの松本純一氏にご講演いただきます。

ご多用中とは存じますが、是非ご周知頂けます様、何卒よろしくお願い申し上げます。また、当日取材いただける場合は、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

日 時:令和元年 12 月 14 日(土)13:00～16:15(開場 12:30)

場 所:東北大学 流体科学研究所 2 号館 5 階 大講義室

宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1 (地図添付)

参加費:無料

定 員:90 名※定員になり次第締切りとさせていただきます。

申込締切:令和元年 12 月 7 日(土)

内 容:講演1 「ドイツにおけるエネルギー事情と地球温暖化対策の動向」

講師/ドイツ在住の作家 川口マーン恵美 氏

講演2 「福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水対策の現状と課題」

講師/東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 廃炉推進室長 松本 純一 氏

【問い合わせ先】

東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻 教授 橋爪 秀利

TEL&FAX:022-795-7904 E-mail:hidetoshi.hashizume@qse.tohoku.ac.jp

日本保全学会 東北・北海道支部 事務局 担当:堀籠 一恵

TEL&FAX: 022-211-9889 E-mail: north.com@jsm.or.jp

◆講演『ドイツにおけるエネルギー事情と地球温暖化対策の動向』

ドイツ在住の作家 川口マーン恵美 氏

【講演概要】

日本人が拍手喝采をしたドイツの「エネルギー転換」政策が、今、完全に行き詰まっている。脱原発を目指し、再エネを急激に増やしたものの、CO2は減らず、しかも、電気代はEU一にまで高騰。ドイツのエネルギー政策は何が間違っていたのか？ 日本が見習ってはいけない理由とは？



講師略歴

川口マーン恵美（かわぐち まーん えみ）

日本大学芸術学部音楽学科ピアノ科卒業。シュトゥットガルト国立音楽大学院ピアノ科修了。『ドイツの脱原発がよくわかる本 日本が見習ってはいけない理由』（草思社）が第36回エネルギーフォーラム賞の普及啓発賞、『復興の日本人論 誰も書かなかった福島』（グッドブックス）が第38回同賞の特別賞を受賞。その他、『住んでみたドイツ 8勝2敗で日本の勝ち』（講談社+α 新書）、『ヨーロッパから民主主義が消える』（PHP 新書）、『そしてドイツは理想を見失った』（角川新書）、『老後の誤算 日本とドイツ』（草思社）、など著書多数。

2011年より、ウェブマガジン『現代ビジネス』にてコラム『シュトゥットガルト通信』を連載中（毎週金曜日 更新）。

◆講演『福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水対策の現状と課題』

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 廃炉推進室長 松本 純一 氏

【講演概要】

東日本大震災において、3つの原子炉が溶融するという大事故を起こした福島第一原子力発電所では、事故以降、放射性物質の飛散防止、使用済燃料プールからの燃料取り出しなどを進めています。

福島第一原子力発電所の廃炉事業における現在の取り組み状況と今後の課題について、設備、環境、それぞれの面から説明いたします。



講師略歴

松本 純一（まつもと じゅんいち）

東京電力ホールディングス㈱ 執行役員 福島第一廃炉推進カンパニー 廃炉推進室長兼福島本部

東京大学工学部原子力工学科卒業

東京電力株式会社入社、柏崎刈羽原子力発電所第一運転管理部長、東京電力HD福島第一廃炉推進カンパニー運営総括部長兼原子力改革ユニット原子力改革特別タスクフォース事務局兼福島本部。

2019年4月より現職

【会場アクセス】

東北大学 片平キャンパス

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1

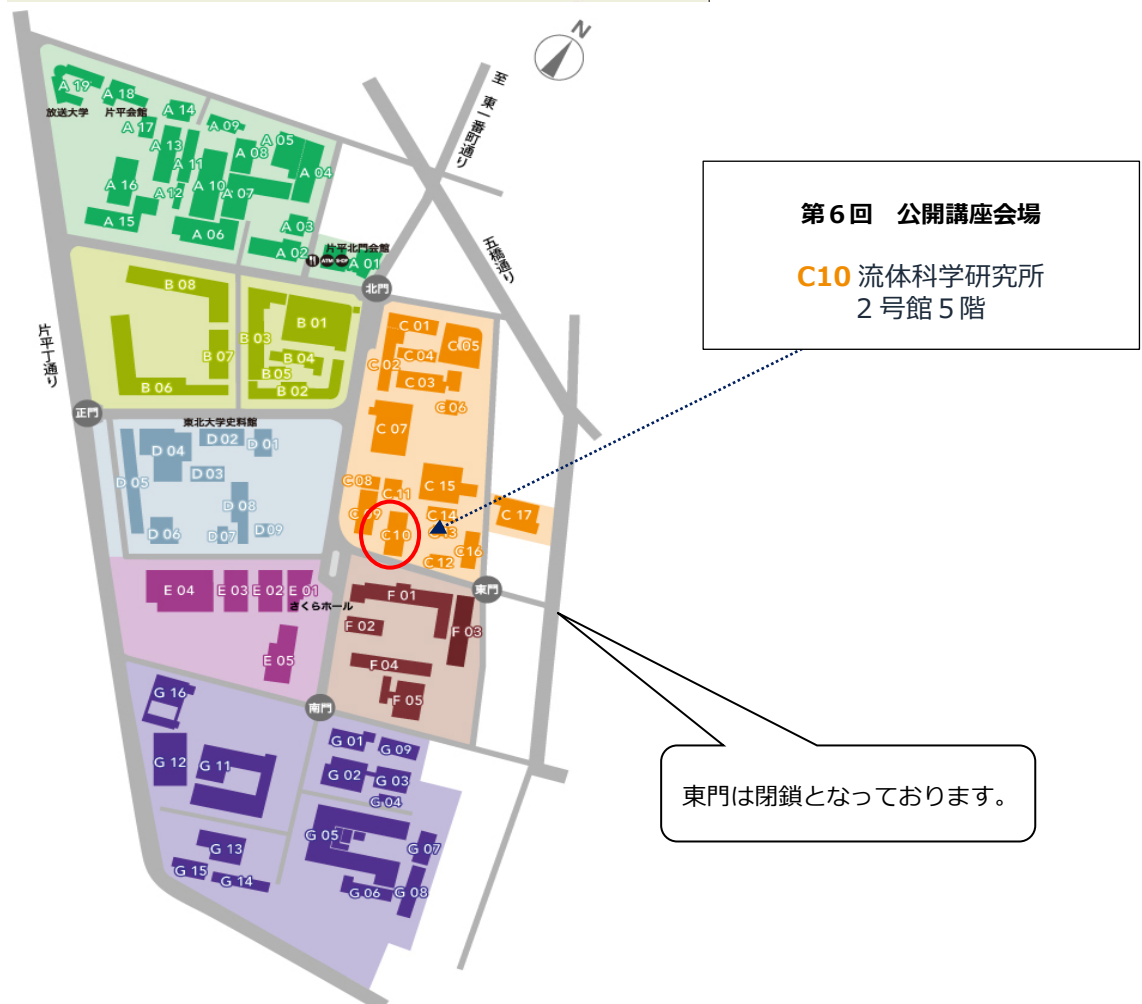
仙台市地下鉄東西線 青葉通一番町駅 南1口より徒歩約10分

仙台市地下鉄南北線 五橋駅 北2・北4口より徒歩約10分

仙台駅（JR） 西口より徒歩約20分

<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/jpn/map.html>

※会場には駐車場がありません。ご来場には公共交通機関をご利用下さい。



参加申込書

申込日：令和元年 月 日

申込先：日本保全学会 東北・北海道支部 事務局

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、メールにて堀籠(north.com@jsm.or.jp)宛にお送り下さい。

※参加申込書到着後、1週間以内に参加申込み受付の返信をいたします。1週間を過ぎても返信が無い場合は、大変恐れ入りますが、担当までご一報下さいますようお願い申し上げます。

会社・団体名	所属・役職名	お名前（フリガナ）
住所 〒 —	電話番号（ ） — FAX 番号（ ） — メールアドレス	
講演者への質問がございましたらご記入下さい。（※時間の都合等で全てのご質問にお答えできない場合もございます。）		

※ご記入いただいた情報につきましては、本講座以外の目的には使用いたしません。

※ご入場の際には名刺もしくは運転免許証など本人確認のできるものをご提示いただきます。

令和元年 12 月 7 日(土)までにお申し込みください

<第 6 回公開講座 「今、エネルギーを考える」>

◆日 時：令和元年 12 月 14 日（土）13：00 ～16：15（開場 12：30）

◆場 所：東北大学 流体科学研究所 2 号館 5 階 大講義室

◆プログラム

○講演 1 「ドイツにおけるエネルギー事情と地球温暖化対策の動向」

講師／ドイツ在住の作家 川口マーン恵美 氏

○講演 2 「福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水対策の現状と課題」

講師／東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 廃炉推進室長 松本純一 氏

《お問い合わせ・お申込み》

日本保全学会 東北・北海道支部 事務局 担当：堀籠 一恵

TEL&FAX: 022-211-9889

Email: north.com@jsm.or.jp